

令和5年度 学校における感染症対策（マスク着用等）の考え方について

陽春の候、保護者の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育に温かいご理解とご支援を賜りまして、ありがとうございます。

さて、本校ホームページ最上段「常盤小学校からの大切なお知らせ！」にて、「**文科省のマスク着用等の基本的な考え方の見直し**（※愛媛県教育委員会・今治市教育委員会も本方針に準じた方針です。）」の詳細につきましては、すでにお知らせしているところであります。

つきましては、本方針に基づきまして、本校の対応を下記のようにとりたいと考えております。本校スタッフ一丸となりまして、児童の様子をしっかりと見取りながら、対応をしていきたいと考えておりますので、何とぞご理解とご協力をお願いいたします。

記

1 基本的な考え方

(1) 児童・教職員に対して、学校教育活動を行うにあたり、**マスク着用を求めないことを基本**とする。ただし、以下のようなマスク着用が推奨される場面では、マスク着用を推奨する場合がある。

- ① 混雑したバスや電車、施設等を利用するような場合
- ② 校外学習等で医療機関や高齢者施設等を訪問するような場合
- ③ インフルエンザ流行期も含め、学校内で感染症の急拡大が懸念されるような場合



(2) 学校（教職員）が、**マスク着・脱を推奨する場合はあるが、強いことはない。**

※ 基礎疾患があるなど様々な事情によりマスク着用を希望する児童もいるし、健康上の理由等によりマスクを着用できない児童もいることへの理解・配慮。

→ 児童間でマスク着用の有無による差別・偏見等がないよう適切に指導を行う。

2 感染のリスクが比較的高い活動における感染症対策

(1) 給食・調理実習等の食事をする場面

①大声での会話を控える。②机を向かい合わせにしない。③向かい合わせになる場合は、一定の距離（1m程度）を確保する。④上記①～③の対策下での黙食は求めない。

(2) グループワークをする場合

①必要最少人数のグループにする。②大声での会話を控える。③共用又は備え付けの器具等を使用する場合は、配置場所・使用順を工夫し、触れ合わない程度の距離を確保する。



(3) 儀式での斉唱や呼びかけ、音楽科等での合唱やリコーダー等の演奏をする場合

- ①体の中心から前方1m程度・左右50cm程度を目安とした距離を確保する。
- ②近距離での向かい合っでの発声は控える。③向かい合っでの歌唱は控える。

3 その他

① 感染リスクの高低にかかわらず、「三密の回避」「人と人との距離確保」「手洗い等の手指衛生」「効果的な換気（気候上可能な場合は、2方向の窓を同時に開けての常時換気）」「咳エチケットの励行」などは引き続き指導します。

② 激しい運動時や熱中症が心配される環境下では、マスクをはずすよう児童に呼びかけます。この点に関しまして、ご心配・ご不安なこと等がありましたら学校にご相談ください。

【常盤小☎→0898-22-0477】

令和5年度 学校における感染症対策（マスク着用等）の考え方について

陽春の候、保護者の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育に温かいご理解とご支援を賜りまして、ありがとうございます。

さて、本校ホームページ最上段「常盤小学校からの大切なお知らせ！」にて、「**文科省のマスク着用等の基本的な考え方の見直し**（※愛媛県教育委員会・今治市教育委員会も本方針に準じた方針です。）」の詳細につきましては、すでにお知らせしているところであります。

つきましては、本方針に基づきまして、本校の対応を下記のようにとりたいと考えております。本校スタッフ一丸となりまして、児童の様子をしっかりと見取りながら、対応をしていきたいと考えておりますので、何とぞご理解とご協力をお願いいたします。

記

1 基本的な考え方

- (1) 児童・教職員に対して、学校教育活動を行うにあたり、**マスク着用を求めないことを基本**とする。ただし、以下のようなマスク着用が推奨される場面では、マスク着用を推奨する場合がある。

- ① 混雑したバスや電車、施設等を利用するような場合
- ② 校外学習等で医療機関や高齢者施設等を訪問するような場合
- ③ インフルエンザ流行期も含め、学校内で感染症の急拡大が懸念されるような場合



- (2) 学校（教職員）が、**マスク着・脱を推奨する場合はあるが、強いことはない。**

※ 基礎疾患があるなど様々な事情によりマスク着用を希望する児童もいるし、健康上の理由等によりマスクを着用できない児童もいることへの理解・配慮。

→ 児童間でマスク着用の有無による差別・偏見等がないよう適切に指導を行う。

2 感染のリスクが比較的高い活動における感染症対策

- (1) 給食・調理実習等の食事をとる場面

①大声での会話を控える。②机を向かい合わせにしない。③向かい合わせになる場合は、一定の距離（1m程度）を確保する。④上記①～③の対策下での黙食は求めない。

- (2) グループワークをする場合

①必要最少人数のグループにする。②大声での会話を控える。③共用又は備え付けの器具等を使用する場合は、配置場所・使用順を工夫し、触れ合わない程度の距離を確保する。



- (3) 儀式での斉唱や呼びかけ、音楽科等での合唱やリコーダー等の演奏をする場合

- ①体の中心から前方1m程度・左右50cm程度を目安とした距離を確保する。
- ②近距離での向かい合っでの発声は控える。③向かい合っでの歌唱は控える。

3 その他

- ① 感染リスクの高低にかかわらず、「三密の回避」「人と人との距離確保」「手洗い等の手指衛生」「効果的な換気（気候上可能な場合は、2方向の窓を同時に開けての常時換気）」「咳エチケットの励行」などは引き続き指導します。

- ② 激しい運動時や熱中症が心配される環境下では、マスクをはずすよう児童に呼びかけます。この点に関しまして、ご心配・ご不安なこと等がありましたら学校にご相談ください。

【常盤小☎→0898-22-0477】